

## 平成27年度施設の運営状況

### 1 施設名

富山県立図書館

### 2 施設所在地

富山市茶屋町206-3

### 3 施設設置年度

昭和15年度

### 4 設置目的

県民の文化と教育の発展を図る。

### 5 施設概要

#### 1 敷地面積

9,802.36㎡

#### 2 建物面積等

①本館（鉄筋コンクリート2階地下1階建て：閲覧室、国際プラザ等）

3,713.74㎡

②別館（鉄筋コンクリート3階建て：情報プラザ、多目的ホール等）

1,809.75㎡

③資料センター（鉄筋コンクリート3階建て：書庫）

2,252.06㎡

#### 3 保管資料

924,380点（うち、視聴覚資料 16,183点）

### 6 利用状況

#### (1)利用者数（人）

H23	H24	H25	H26	H27
196,883	186,846	177,629	171,819	182,306

#### (2)貸出冊数

H23	H24	H25	H26	H27
213,825	200,036	190,327	186,565	202,326

#### (3)調査相談件数

H23	H24	H25	H26	H27
18,841	19,378	20,068	20,922	20,361

## 7 評価項目

### (1) 利用者数の増減に対する評価

平成27年度の利用者数は対前年度比+6.1%、貸出冊数も対前年度比+8.4%で、いずれも増加している。また、調査相談件数は対前年度△2.7%で微減している。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ①「国立国会図書館 歴史的音源サービス」の提供  
1900年初頭から1950年頃までに国内で収録された音楽や演説などの音源を聴くことができる「国立国会図書館 歴史的音源配信サービス」に参加し、情報プラザで提供を開始した。
- ②戦後70年関連展示の実施  
7月16日から8月16日まで「残された伝言(メッセージ)～戦後70年」のテーマで当館所蔵の富山大空襲に関連する資料や疎開・戦時中のできごとや暮らしの様子が分かる資料の展示・紹介を行った。
- ③アクションプランの実施  
策定したアクションプランを実施し、次年度への取組みを含めた検証結果を評価として公表した。
- ④遠隔地利用者返却制度の参加館の拡大  
射水市4館と舟橋村が新たに協力館として加わり、富山市を除く県内14市町村の26館で、遠隔地利用者返却利用制度の利用が可能となった。
- ⑤「TOYAMA Free Wi-Fi」の整備  
館内の無線LAN環境を「TOYAMA Free Wi-Fi」に移行し、調査研究のためのインターネット活用を促進する環境を整備した。

### (3) 利用促進に向けた取組み

- ①スポンサー雑誌の拡充  
平成26年度に導入した雑誌スポンサー制度の周知に尽力し、スポンサー雑誌の拡充を図った。〔27社から33誌提供(H26:20社から27誌提供)〕
- ②周年記念誌の収集  
県内の周年記念誌の刊行調査を行い、公立学校の周年記念誌を中心に新たに223誌を収集した。
- ③統計に関するパスファインダーの作成  
企画展示「統計には何がある？」の開催に併せ、統計に関するパスファインダーを作成し、各種資料の活用方法を紹介した。
- ④「図書館活用講座」の開催  
図書館の上手な使い方や法令に関するデータベースに使用方法の紹介や当館資料センター内部への案内ツアーの実施などを行った。
- ⑤富山短期大学附属図書館との連携  
富山短期大学附属図書館との相互貸借協定を締結した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

閲覧室カウンター等において、図書購入に関する要望をはじめ、各種の要望や苦情等を受け、適切に対応を行った。

- ①リクエストによる図書購入 797冊
- ②ご意見箱の意見への回答 60件

(5) 個人情報保護の取組み

富山県個人情報保護条例に基づき、適切に対応を行った。

〈具体的な取組み〉

- ①利用者の借りた図書情報を外部に漏らさない。
- ②各種伝票等には利用者の氏名と借りた資料名を同時に印字しない。
- ③返却と同時に貸出履歴を消去するシステムとしている。
- ④各種申込書の情報をその目的以外に利用しない。

(6) 関係団体との連携

富山県図書館協会、富山県郷土史会等と連携し、研修会や講演会等を開催した。(開催延べ回数:講演会等 5回、研修会等 8回)

(7) 施設・設備の維持管理、充実

- ①電力使用量の監視により、夏場の日中等における最大電力使用量の抑制(ピークカット)を行い、電気料金の節約を図った。
- ②経年劣化により故障した空調設備や駐車場外灯の修繕を適切に行い、安全性や快適性の維持に努めた。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ①緊急連絡体制や危機管理マニュアルの周知を図った。
- ②消防訓練を実施した。

8 今後の課題等

新たな利用者を掘り起こすなどにより、来館者や貸出冊数等の増加を図る。